

令和元年度早良ひまわりハウス事業報告

【事業概要】

令和元年度は、基本方針である①利用者一人ひとりの年齢や特性に配慮した支援②専門性の向上と法令遵守、質の高い支援③地域とのつながりを進める、を基に関係機関、他事業所、地域等と連携して福祉サービス提供に取り組みました。

利用者支援においては、平均年齢が 54 歳であり体調面での配慮がより顕著になってきています。通院同行や日々のバイタルチェックを行い、体力や身体機能への支援を重点的に行っています。

事業運営では、早良ひまわりハウスの延利用者数増加、ショートステイ 1 床増床による受け入れ枠拡大及び延利用者数の増加を図りました。既存のグループホームは引き続き巡回事業所と連携して安定した生活の維持に努めました。特定相談事業所は、基幹相談からの移管及び新規契約を受け、サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

以下、項目ごとにご報告いたします。

1 利用者の状況

項目	内容
定員（実利用）	15 名（15 名）
男女別	男性：8 名 女性：7 名
平均年齢	54 歳（男性 53.8 女性 54.8）
障害の程度	A1（3 名）A2（6 名）A3（2 名）B1（3 名）B2（1 名）
支援区分 平均	1（1 名）3（4 名）4（8 名）5（1 名）6（1 名） なし（1 名） 3, 7

2 職員の状況

管理者 1 名 サービス管理責任者（管理者兼務） 1 名

常勤職員 5 名 パート職員 1 名 夜勤職員 7 名（シフト制）

世話人 3 名（委託契約）

3 サービス支援業務の実施状況（共同生活援助事業）

日常生活支援

入居者の皆さんの各自の自立度に合わせて大きく3段階に分けて支援を行っています。

- ① 自身で全行程行える場合は、職員は確認程度の支援。
- ② 部分的に力を発揮出来るところまで行ってもらい職員が補完、支援行う。
- ③ 自身で行えない場合は職員が支援する。

（1）食事支援

材料は、業者による宅配を利用し、世話人が調理を行っています。一口大や刻み等身体面への配慮も行っています。

メニューについては、業者側の栄養士がカロリーや栄養計算したものです。入居者の誕生日や季節メニューを企画したり、イベント開催時にオリジナルメニューを提供しています。

（2）入浴支援

毎日入浴してもらうようにしています。障がい特性に配慮した入浴方法で支援しています。また、皮膚疾患の感染予防のため、浴室清掃、足ふきマット等はこまめに清掃、取り換えを行っています。転倒の恐れがある方には、浴室用介護チェアなどの介護用品の利用も行い、安全に配慮しながら支援を行っています。

（3）排泄支援

部分的、全面的介助を必要とする方が複数入居されており、身障者用トイレを使用しての介助を行っています。排便の間隔があいている方については職員間の連絡引継ぎ支援が途切れないよう配慮しています。

（4）健康に関する支援

毎朝、血圧検温測定を行いバイタルチェックで常に体調把握を行っています。体調不良時には保護者、事業所に連絡を取り状況によっては、通院などの対応をとっています。

また、服薬について家族、医療機関と連携をとり投薬管理を常時行っています。

(5) 衣類に関する支援

衣類着脱で支援を要する方が2名。季節に合わせた服装をすることが苦手な方が複数おられ、支援員と話し合いながら都度調整しています。

(6) 夜間支援

夜間（19:45～7:45）は、夜間専門職員により定時巡回や介助を行っています。ハウス1には主に看護師免許有資格者を配置しています。

4 短期入所事業

(1) 利用状況

月	利用者数 (人)	延利用日数	月	利用者数 (人)	延利用者日数
4月	21	75	10月	19	40
5月	25	65	11月	26	34
6月	23	66	12月	23	59
7月	26	70	1月	13	38
8月	19	56	2月	15	17
9月	22	32	3月	18	22

(2) 利用内容

ショートステイ室を増床したことにより同時に受け入れる人数が増えたことで予約を受けやすくなりました。また、主な障がいが身体障がい
で長期利用された方や行動障がいがある方の複数利用があるなど幅が
広がっています。緊急時の希望がある際は、当日利用の方の日程変更
を調整して、緊急受け入れを行っています。重度障がい者の受け入れが
増えており、今後も増加が予想されます。

5 その他の取り組み

(1) 運営協議会

6月と12月に2度開催しました。更に早良ひまわりハウスについて
知りたいとのお話もいただきました。

次年度も開催を予定し、各委員の方にご連絡していきます。

(2) 地域との関わりについて

町内会の夏祭りに協賛するとともに、当日は、利用者の方と職員で祭りに参加しました。

さわら南よかところネット（野芥・入部・四箇田・早良・内野・脇山・曲渕校区にある介護・障がい・医療サービス事業所の集まり）や凸凹ネットさわら（早良区内の障がい福祉サービス事業所の集まり）に参加し、地域の情報交換などを行っています。

(3) 防災・防犯について

防災に対する備えとして避難訓練を実施し、入居者の方への避難行動の習慣化と意識付けを行いました。

また、施設外周には、防犯設備として防犯カメラと防犯センサーを設置し、外部からの侵入等に対する対策を講じています。

(4) グループホーム（外部サービス利用型）のバックアップ

法人内に3か所ある外部サービス利用型グループホーム（今宿・皿山・壱岐団地）のバックアップを行っています。主な内容は、各グループホーム巡回担当事業所との連携による各所の状況把握や入居者や世話人からの要望などへの対応などを行っています。

(5) 職員研修について

法人内の新任研修、実践発表研修会、虐待防止委員会研修などに参加しています。ショートステイ受け入れに当たり、強度行動障がい者支援研修に職員を派遣しました。また、特別支援学校から講師を招き研修会を開催しました。

(6) 苦情受付状況

令和元年度は、地域住民及び関係者からの苦情はありませんでした。次年度も入居者の方の快適な生活環境作りに努めていきます。

(7) 休日余暇

休日を利用してバーベキューを催したり、カラオケや放送局へ出かけたりと普段は行けない場所や節分等の季節の行事を楽しむ機会を設けました。また、一人で外出可能な方は、交通経路や外出先の情報などを提供しています。

6 特定相談支援事業

(1) 計画作成とモニタリングの実施と請求数

月	モニタ件数	計画件数	月	モニタ件数	計画件数
4月	16	33	10月	23	15
5月	19	13	11月	16	14
6月	19	11	12月	16	18
7月	21	12	1月	29	11
8月	19	13	2月	16	8
9月	22	24	3月	21	19

(2) 受け入れ状況

専従の相談支援専門員2名を配置して知的障がい児・者の計画相談及びモニタリング・担当者会議を行っています。傾向として年度末にかけて計画作成数が集中しています。また、各区の基幹相談支援センターと連携（支援会議の参加）を図りながら、業務を行っています。

令和元年度は、短期入所事業や居宅介護事業または一定の要件を満たす方においてモニタリングが従来よりも短く設定でき、より細かな対応が出来るようになりました。また障がい児相談においては、受給者証更新時期がそれぞれの誕生月になったことで繁忙月が分散し、相談を受けやすくなりました。